

神仙平楊子ヶ宿泊七面山 山行報告書

和歌山県勤労者山岳連盟 紀峰山の会 Ver_20230625
 事務所：〒641-0044 和歌山市今福1丁目1-11 アマノマンション202号

山行報告書提出日	2024年11月11日	報告書記入者	
山行期間	2024年11月9日(土) ~ 2024年11月10日(日)		
山名・山域	大峰山脈	登山方法	ハイキング
山行目的他山行区分	紅葉の大峰山脈、神仙平を楽しむ。	<input checked="" type="checkbox"/> 会山行	<input type="checkbox"/> 公開山行
		<input type="checkbox"/> 自主山行	<input type="checkbox"/> その他山行

参加メンバー

任務	氏名	任務	氏名	任務	氏名	任務	氏名
CL							
SL							

ルート図



時刻	場所
	(1日目)
08 : 20	船ノ川中尾根登山口付近
14 : 50	船ノ峠
15 : 30	楊子ヶ宿避難小屋(宿泊)
	(2日目)
06 : 45	楊子ヶ宿避難小屋出発
07 : 10	楊枝ヶ森
08 : 15	七面山(東峰)
08 : 45	七面山
09 : 10	槍ノ尾ノ頭
09 : 40	七面山
11 : 20	七面山登山口
12 : 40	船ノ川中尾根登山口付近
:	
:	
:	

山行記録

1日目は途中からバリエーション・ルートとなり、ルート探索に留意しながらの登山となる。出発直後の船ノ川渡渉は、靴を脱ぐ必要はあったが水量は多くなく、全員危なげなく通過。七面山登山口までに何か所か崩落箇所があり、そのうち1か所では滑落の危険を感じた(ロープは張ってあるが緩くて当てにならず)。七面山登山口からはカラハツソウ谷を左手に眺めながらの登りがしばらく続く。舟ノ峠の稜線に至る登りは斜度が急な上に浮石が多く、落石に注意しながらの急登となる。ただ斜面中程からの展望は素晴らしく、晴天の下、しばしの休憩を楽しむ。稜線に出てから40分ほどで楊子ヶ宿避難小屋に到着。日本語に堪能なフランス人の青年1名と同宿。非常に綺麗な小屋で、メンバー特製キムチ鍋を囲んでの宴会の後就寝。2日目は5時に起床し水場で水を調達(水場を見つけるのに手間取る)後、7時前に出発。所々に残る紅葉を楽しみながら尾根道を進み、岩峰鋭い七面山(東峰)、笹原が美しい七面山へと進み、七面山から槍ノ尾ノ頭への往復をこなす。そこから本格的な下りとなり、七面山登山口まで一気に高度を下げていく。七面山登山口からは行きと同じ道を車まで無事に戻る。

山行中のトラブル

特になし。

その他感想等

メンバーと好天に恵まれ、非常に楽しい山行となりました。稜線からは大峰の主要な山々や、遠く大阪の街並みまでが展望でき、さらに、所々に赤や黄色の紅葉が目を楽しませてくれました。コースに関して、1日目のバリエーション・ルートでは、ルート探索(地図読みや踏み後探し)に一定の経験が必要と感じました。また、2日間の獲得標高が約1,700mで歩行距離が約19kmあるため、ある程度の体力が必要なルートと思いました。帰宅後に七面山の名前の由来を調べたところ、板のような急な「がれ場」が7つの面にあることから「なないた(七面)がれのたけ」と呼び慣らされてきたとのこと。